

立川ターミナルでは中心となる立川駅には JR が3路線（中央線、南武線、青梅線・五日市線）乗り入れ、東京の中心部や多摩西部、神奈川、埼玉の中心部から1時間弱程度でアクセス可能で、さらに、多摩地域を南北に繋ぐ重要な交通網である多摩都市モノレールの中心的な駅である立川北駅、立川南駅により、軌道交通の結節点となっています。

また、南北のバス・タクシーのりばは多摩北部や南部に向う多くの路線の発着の起点となっており、バス交通においては、多摩地域における地域公共交通の要衝として重要な役割を担うターミナルとなっています。

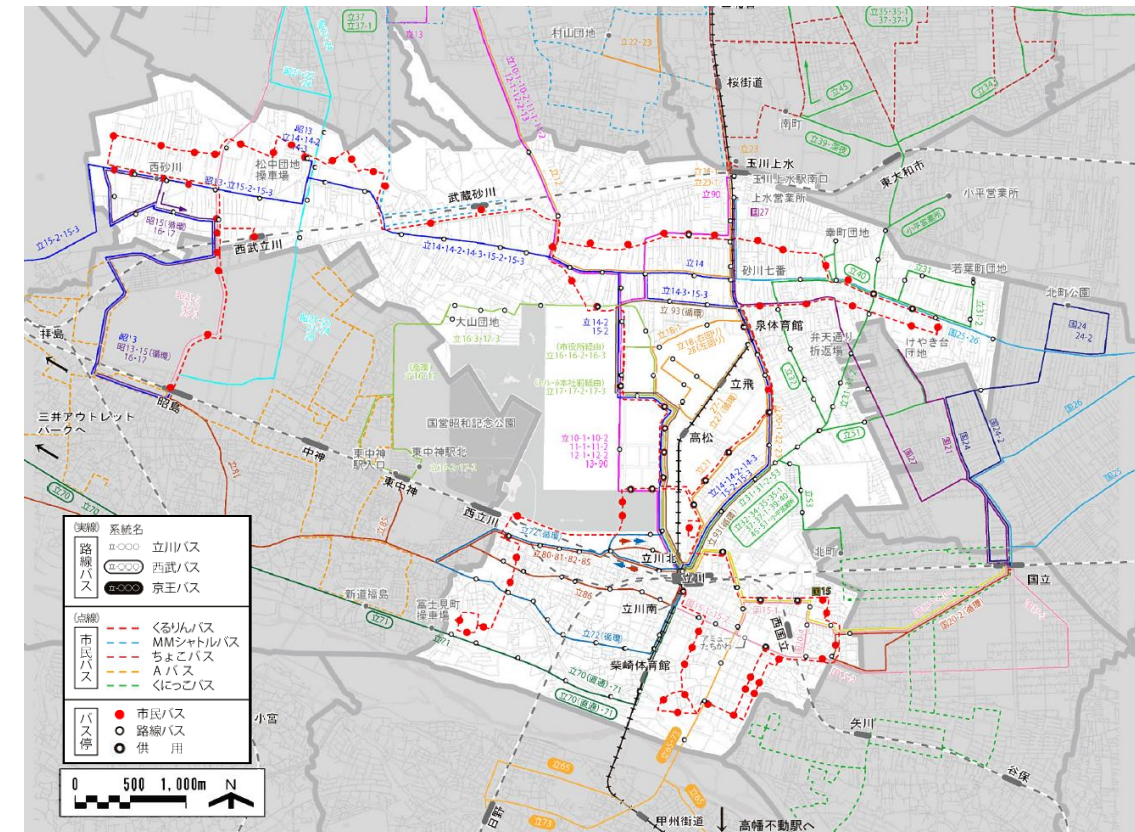
さらに、ターミナル周辺では、商業施設も数多く立地してるなど、多くの人々が往来する交通結節点として機能しています。

○多数の方が利用する東京都多摩部の拠点となるターミナル

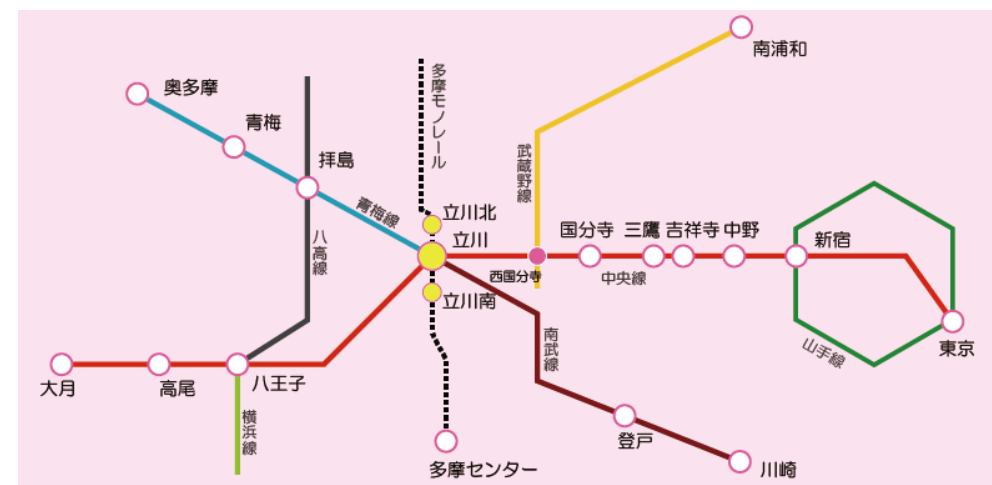
鉄道等		乗り場	関係路線
鉄道	3 駅 / 4 路線	JR 立川駅	JR 線（中央本線・中央線／青梅線・五日市線／南武線）
		立川北駅、立川南駅	多摩モノレール
路線バス	北口：16 のりば / 57 系統 976 便 / 3.53 万人利用※ 南口：5 のりば / 7 系統 306 便 / 0.86 万人利用※	北口バスのりば	立川バス、西武バス、京王バス くるりん（立川市コミュニティバス） ※数値については各HP等を参考
		南口バスのりば	
タクシー	2 箇所	北口タクシーのりば 南口タクシーのりば	南口に視覚障害等に対応したタクシーのりばが別途有り

※便は各社HP時刻表の平日の合計（一部平日外有り）／利用は各系統の1日平均利用者数の合計（立川市統計年報H27）

○市域全体（近隣市を含む）へのアクセスが可能なバス路線



○広域からアクセスが可能なターミナル



<主要な駅との比較>

	駅名	乗降客数（1日平均）	路線
東京都市部 ※JR 中央線沿線	立川駅	40.6 万人	JR 東日本+多摩モノレール
	八王子駅	22.9 万人	JR 東日本+京王
	国分寺駅	34.2 万人	JR 東日本+西武鉄道
	三鷹駅	19.2 万人	JR 東日本
	吉祥寺駅	42.9 万人	JR 東日本+京王
参考	新宿駅	358.0 万人	※新宿ターミナル資料より

※乗降客数は各社HPより2016年度のデータをもとに作成（JR東日本のみ乗車人員のため2倍した数値を使用）

○立川ターミナルの基本理念（キーワード）

※H29年度作成の立川ターミナル基本ルール（案）より

<p>わかりやすく サインの改善</p>	<p>やさしく バリアフリーの推進</p>	<p>利用しやすい サービスの向上</p>
<p>「サイン体系」 「表記・表現」 「配置」</p>	<p>「スムーズな移動」 「利便性の強化」</p>	<p>「情報の充実」 「サービスの提供」</p>

「ターミナル駅利便性向上指針（案）」とは

東京都のターミナル駅において、案内サインの改善、乗り換え動線のバリアフリーの推進、サービスの向上に取り組むことにより、誰もがわかりやすく使いやすいターミナルの実現を目指すため、自治体、交通事業者、道路管理者など、関係事業者が連携して取り組む際の検討手順を示すとともに、ターミナル駅間での案内サインに示された情報が利用者に同じように伝わるようにするため、特に留意すべき事項について取りまとめられたもの。

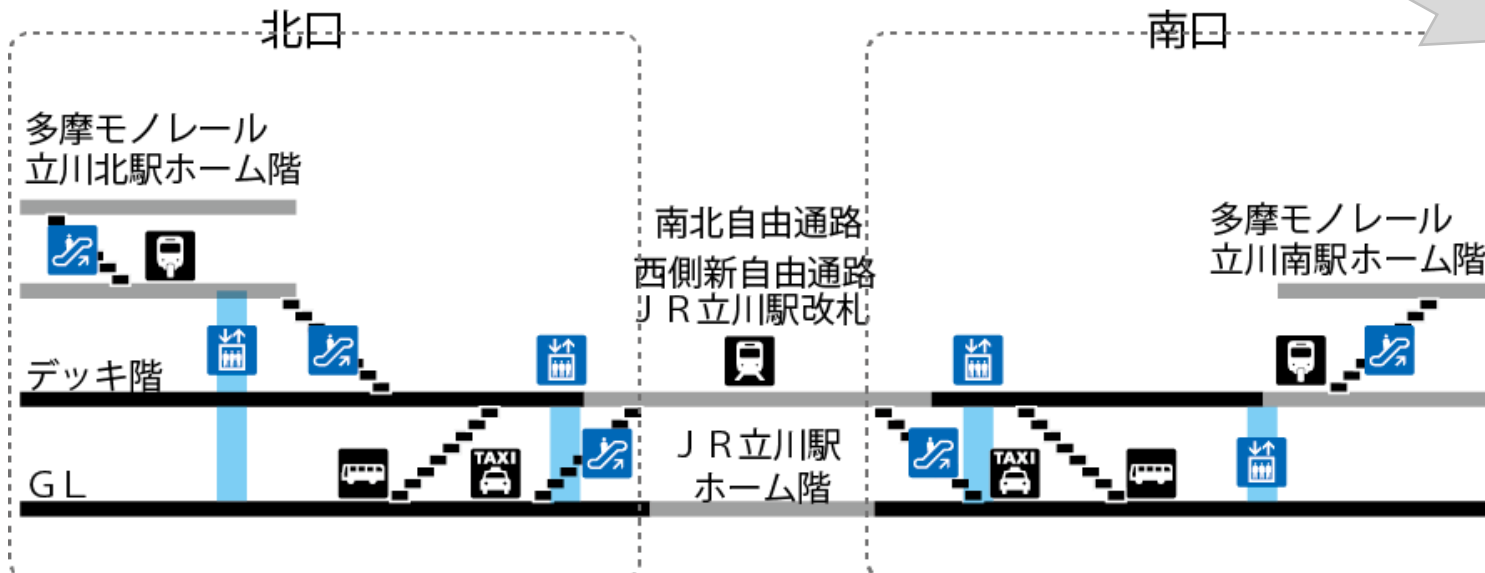
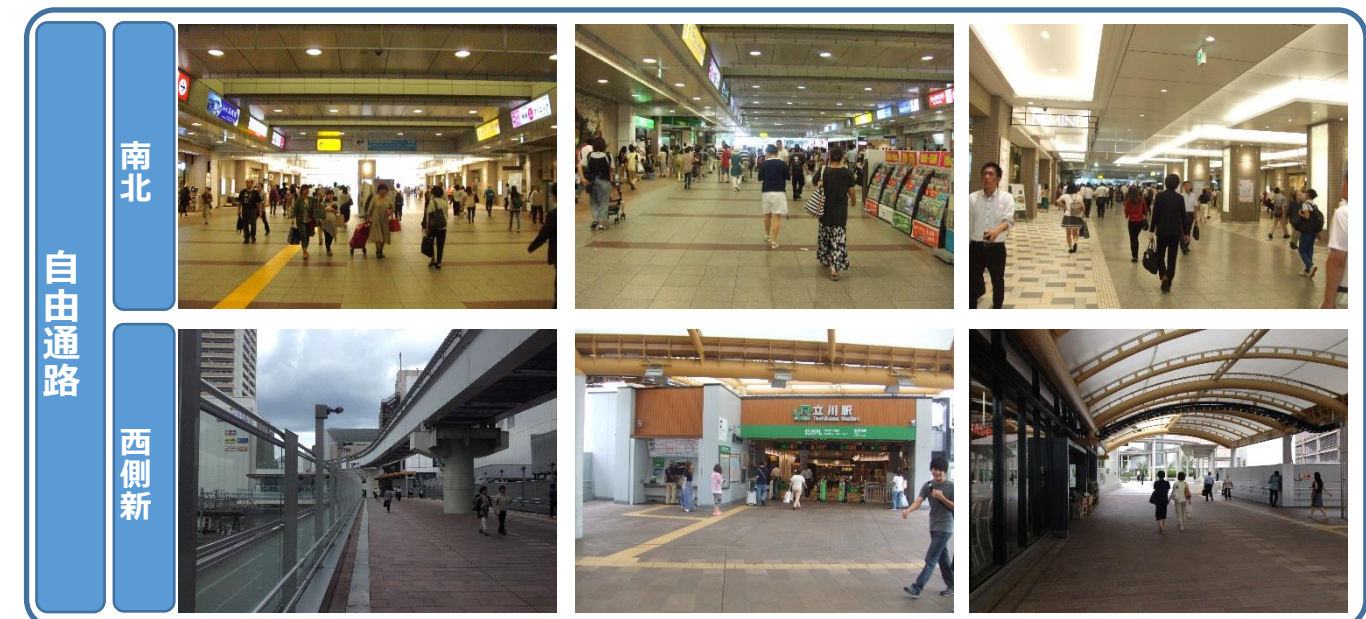
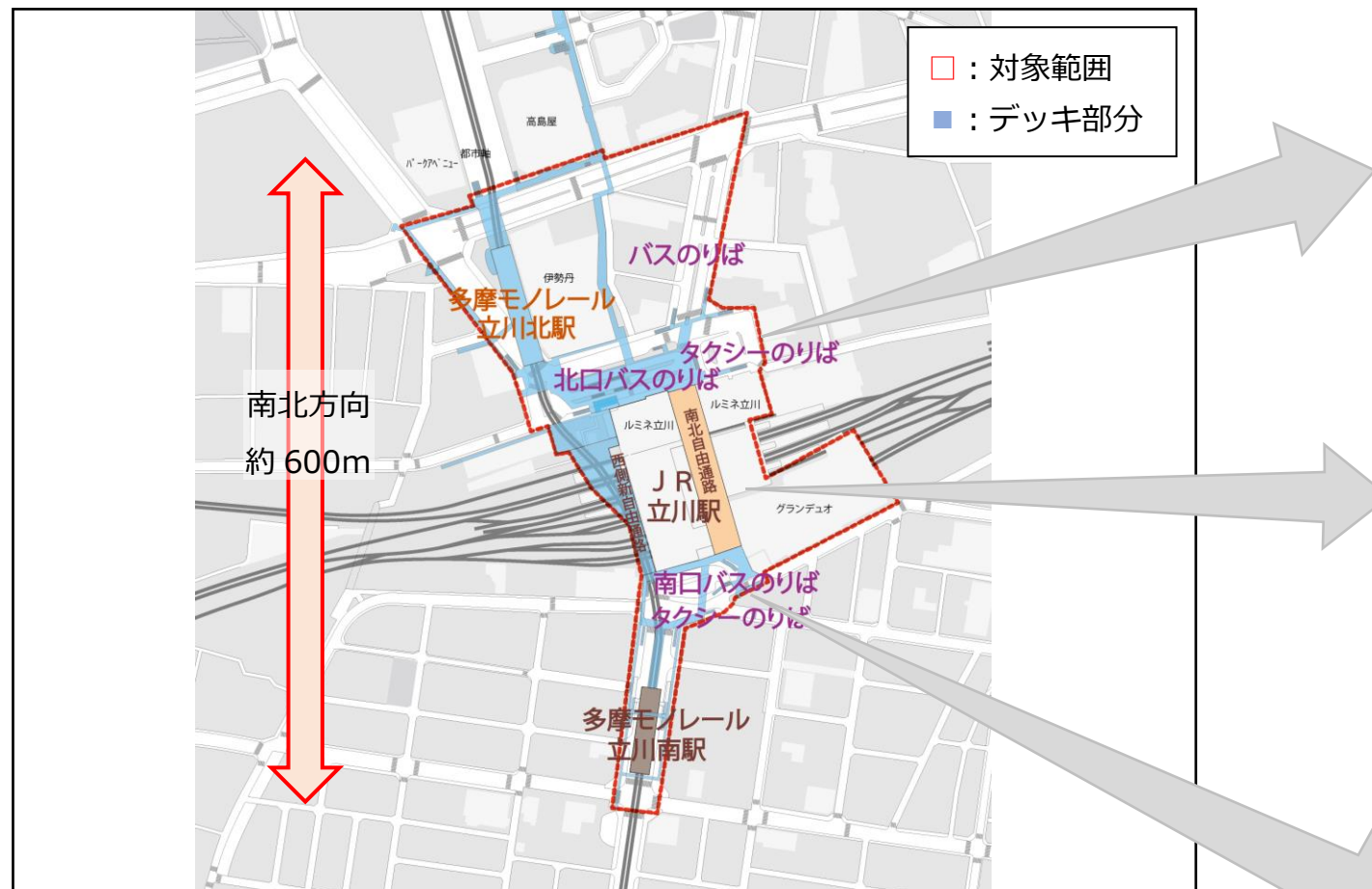
○ターミナル駅に位置づけられた駅

→新宿駅、東京駅、渋谷駅、池袋駅、品川駅、浜松町駅、日暮里駅、立川駅、八王子駅

○デッキを中心構成されるターミナル空間

JR立川駅を中心に南北方向に約600m程度でターミナル空間が構成され、デッキ空間で鉄道機関が繋がっている一方で、バス・タクシーのりばは北口、南口の地上部に位置し、上下移動が中心となっています。

また、駅周辺の南北間の移動はデッキ部（南北自由通路・西側新自由通路）のみで、周辺施設の多くがデッキ部からもアクセスが可能なことから、ターミナルの中心的な歩行者動線はデッキ部を中心に構成されている状況となっています。



○表記内容の状況

- ・表示面の日本語表記や英語表記、ピクトグラムがサイン毎に異なる状況となっている。

□表記例1

→「TACHIKAWA STATION NORTH ENTRANCE」／「JR Tachikawa Sta. North Exit」



□表記例2

→日本語：「多摩モノレール」と「多摩都市モノレール」

→英語：「Tama Monorail Line Tachikawa-Kita Sta.」／「TACHIKAWA NORTH STATION」

→ピクト：「鉄道/鉄道駅の図記号（JIS規格）」／JIS規格鉄道を改変した独自の図記号」



○地図面の表記の状況

- ・地図情報を掲載しているサインが複数設置されているが、設置者、設置時期ごとに表記内容が異なるケースも見られた。（一部で広告掲載有り）

□上段左より

- JR東日本
- JR東日本
- 東京都



□下段左より

- 立川市
- 立川市
- 多摩モノレール



○設置者ごとの掲出状況

- ・サイン形状や使用している色彩など、設置者ごとに一定の統一感はあるが、対象となる共用スペース全体で見ると様々な形状、色彩のサインが掲出されている状況となっている。

□JR東日本

→南北自由通路



□多摩モノレール（立川北駅・立川南駅）

→駅構内（改札外）



□立川市

→デッキ上/デッキ下



□その他（バス・タクシー等）

→デッキ上/デッキ下



○近隣の主要目的地との状況

- ・昭和記念公園入口に繋がるデッキ部分にはEV、エスカレータ、都市軸に繋がる部分にはエスカレータが設置されていない。

○地上部の状況（バス・タクシー）

- ・タクシーのりば付近には、EVが設置されている。
- ・バスのりばは複数の島に分かれており、それぞれのりばの歩行スペースが狭く利用しづらい。（特に階段がある場所など）

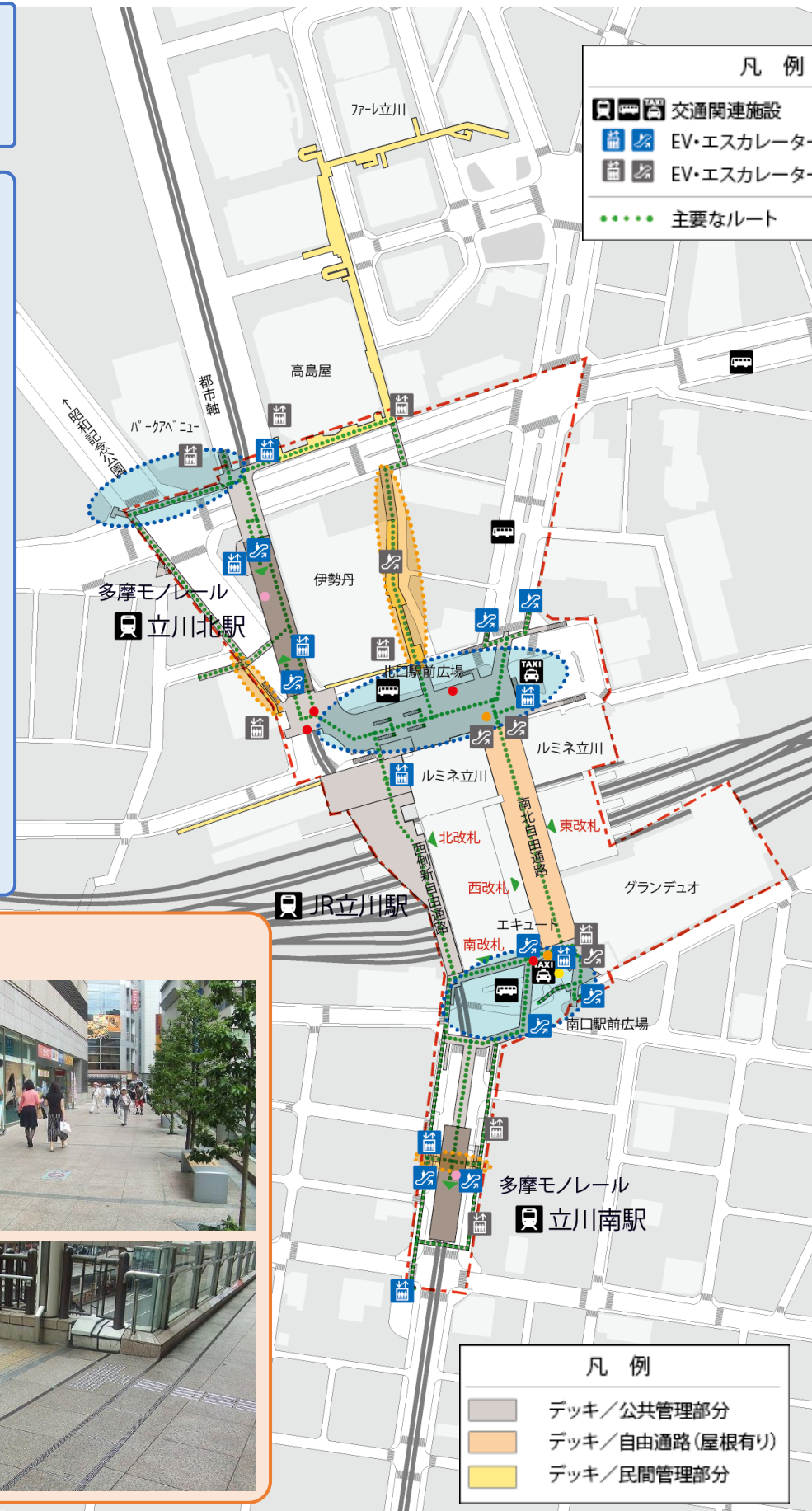


- ・複数の島で構成される北口バスのりばは安全確保が必要になる。（バス走行ルートを行歩者が移動する、横断歩道がない場所を横断するなどの状況もある）



○視覚障害者誘導用ブロックの現状

- ・デッキの管理者（行政、交通管理者、商業施設等）が異なることで、各境界部でブロックが途切れたり、デザインが変更されているケースが見られる。



凡例

	交通関連施設
	EV・エスカレーター（公共・交通関連）
	EV・エスカレーター（民間施設）
	主要なルート

凡例

	デッキ／公共管理部分
	デッキ／自由通路（屋根有り）
	デッキ／民間管理部分

○鉄道駅を結ぶ経路の状況

- ・3つの鉄道駅はデッキを中心としたルートで各改札口を結ぶルートのバリアフリーは概ね確保されている。

○触知サイン等の現状

- ・北口・南口に複数の設置がみられる。
- ・劣化等により使用しづらい状況となっている。
- ・南北自由通路、西側新自由通路やその改札付近には触知サインは設置されていない。

現況の設置状況

- 触知（音声有り／2基）
 
- 触知（点字のみ／地図関連2基／バス関連2基）
 

- 触知（点字のみ）
 
- タクシー呼び出しボタン付き多摩モノレール駅構内2基（1基）
 

○案内所の現況

- ・東京都・立川市の案内所が開設されているが地上部やビル上部などメイン動線上でないため、場所がわかりにくい可能性がある。
- ・東京都・立川市のサービス内容が似ていることから、利用者が混乱する可能性がある。
- ・鉄道やバス事業者の案内所も設置されている。

□東京観光情報センター多摩

場所：エキユート3階
 内容：観光情報の提供、宿泊施設、多摩地域の特産品などの紹介、4カ国対応の案内カウンター等（常時2名程度が常駐）



□立川観光案内センター

場所：立川タクロス1F
 内容：観光情報の提供、有償ボランティアによる案内（常駐はなし）



□JRインフォメーションセンター/びゅうプラザ



○防災情報の現況

- ・北口・南口に各1基が設置されている。
- ・多くの利用者に視覚的に確認できるように、電光掲示の機能を備えている。
- ・表示面の文字情報が小さく利用しづらい面も見られる。

●防災関連サイン（2基）



○公衆無線LANの現況

- ・北口・南口駅前広場デッキ上、西側新自由通路（H29/4現在）を中心に公衆無線LANが利用可能で今後のエリアの拡大の必要性が想定されている。（Tachikawa City Free Wi-Fi）



- ・JR立川駅でも公衆無線LANの利用が可能となっている。（JR-EAST FREE Wi-Fi）